

(報告) 千島海溝津波防潮堤設置工事の進捗状況について

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 千島海溝津波防潮堤の概要

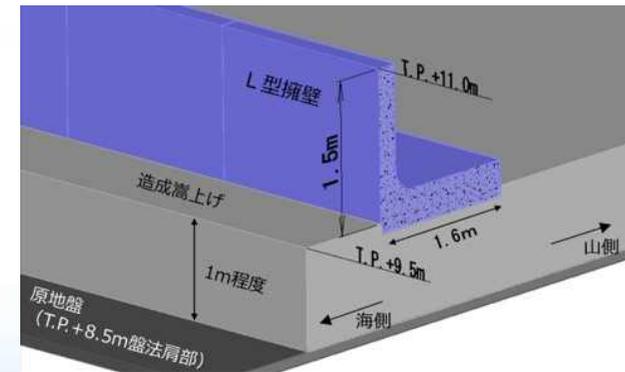
<防潮堤設置の目的>

切迫性が高いとされている千島海溝津波に対して、自主保安の位置付けで

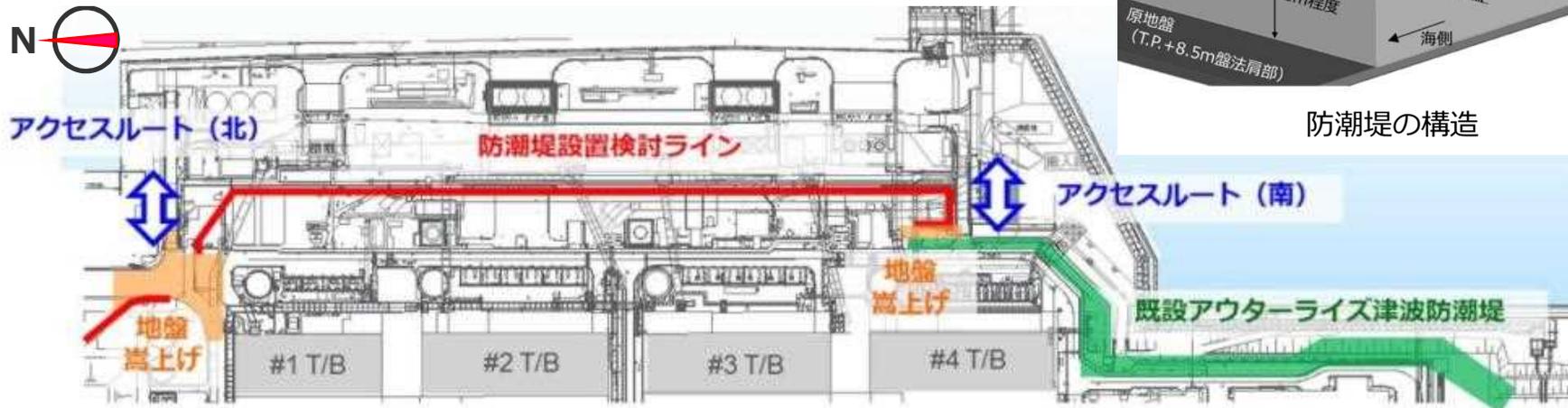
- ① T.P.+8.5m盤の浸水を抑制し、**建屋流入に伴う滞留水の流出と増加を防ぐ。**
- ② T.P.+8.5m盤に設置された建屋等の重要設備の津波被害を軽減することにより、**発電所全体の廃炉作業が遅延するリスクを緩和する。**

<防潮堤概要>

- ・ 千島海溝津波による防潮堤位置の最高水位をT.P.+ 10.3mと想定。防潮堤の高さT.P+ 11m、全長約600m
- ・ 2020年度上期完成予定。



防潮堤の構造



	2018年度	2019年度	2020年度
防潮堤設置工程	設計・技術検討	現在	
		防潮堤工事実施	
		関連移設・撤去工事	

2. 現在の作業状況

- 2019年7月29日 防潮堤設置工事着工
- 2019年9月23日より、L型擁壁の据付作業を開始



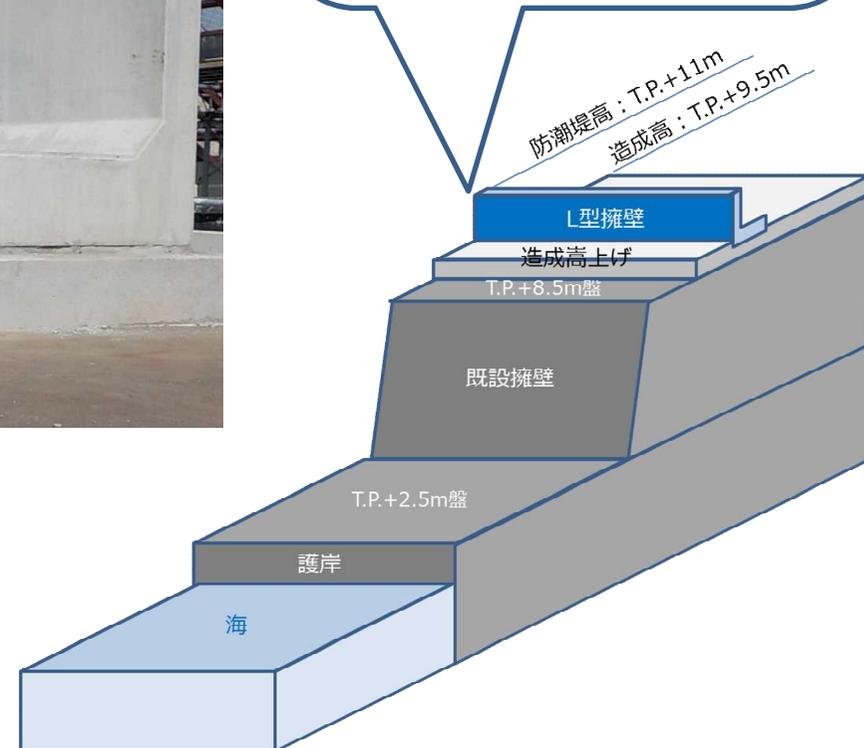
現地据付状況（9月25日撮影）

据付後、基礎コンクリート仕上げを行い、
周辺の造成嵩上げとフェーシングを施工する



L型擁壁

高さ1.7m×幅1.6m、延長2.0m
重量約4t、鉄筋コンクリート製
福島県内工場にて製作し現地搬入



3. 今後の予定

- 全延長約600mを8つのエリアに区分して施工。
他の廃炉作業と工程調整しつつ、順次、他エリアに展開。
- 2020年度上期の全線完成に向けて、鋭意作業を進めてまいります。

